

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公開番号】特開 2019-194251 (P2019-194251A)

【公開日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-045

【出願番号】特願 2019-131603 (P2019-131603)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/74 (2015.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2017.01)

A 6 1 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/16 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

C 0 7 K 14/33 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/74 Z N A D

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/42

A 6 1 P 21/02

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/06

A 6 1 P 11/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 13/10

A 6 1 P 17/10

A 6 1 P 17/16

A 6 1 P 37/04

C 0 7 K 14/33

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 27 日 (2019.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

その必要のある対象において治療効果又は美容効果を実現するために、注射によって投与するための滅菌注射用ボツリヌス毒素組成物であって、

注射するのに適した量で存在するボツリヌス毒素成分であって、  
ボツリヌス毒素複合体、低減されたボツリヌス毒素複合体、及びボツリヌス毒素からなる  
群から選択される、前記ボツリヌス毒素成分；

アミノ酸配列 R K K R R Q R R R G - ( K ) <sub>1 5</sub> - G R K K R R Q R R R ( 配列番号 7 )  
を含む正に帯電した担体であって、前記ボツリヌス毒素成分と非共有結合的に会合してい  
る前記正に帯電した担体；並びに

注射するのに適した薬学的又は化粧品学的に許容される希釈剤；を含む前記組成物。

【請求項 2】

ボツリヌス毒素成分が、C . ボツリヌスの血清型 A、B、C、D、E、F、又は G から  
得られる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

ボツリヌス毒素成分が、ボツリヌス毒素成分タイプ A である、請求項 2 に記載の組成物  
。

【請求項 4】

ボツリヌス毒素成分が、天然複合タンパク質を含まない 1 5 0 k D 分子である、請求項  
3 に記載の組成物。

【請求項 5】

約 4 . 5 ~ 約 6 . 3 の p H を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

アルブミンを含まない、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

ボツリヌス毒素成分が、対象に 1 回の治療あたり 1 ~ 4 0 0 U を供給する濃度で組成物  
中に存在する、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

ボツリヌス毒素成分が、対象に 1 回の治療あたり 1 ~ 2 0 0 U を供給する濃度で組成物  
中に存在する、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

ボツリヌス毒素成分が、対象に 1 回の治療あたり 1 0 ~ 2 0 0 U を供給する濃度で組成  
物中に存在する、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 1 0】

ボツリヌス毒素成分が、対象に 1 回の治療あたり 1 ~ 5 0 U を供給する濃度で組成物中  
に存在する、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 1 1】

ボツリヌス毒素成分が、対象に 1 回の治療あたり 1 0 ~ 5 0 U を供給する濃度で組成物  
中に存在する、請求項 1 0 に記載の組成物。

【請求項 1 2】

ボツリヌス毒素成分が、対象に 1 回の治療あたり 3 0 ~ 5 0 U を供給する濃度で組成物  
中に存在する、請求項 1 1 に記載の組成物。

【請求項 1 3】

ボツリヌス毒素成分が、対象に 1 回の治療あたり 1 ~ 3 0 U を供給する濃度で組成物中  
に存在する、請求項 1 0 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

ボツリヌス毒素成分が、対象に 1 回の治療あたり 1 ~ 1 0 U を供給する濃度で組成物中  
に存在する、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 5】

ボツリヌス毒素成分が、対象の 1 回の治療のための用量で組成物中に存在する、請求項  
1 ~ 1 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 6】

ボツリヌス毒素成分が、対象の 1 回の注射のための用量で組成物中に存在する、請求項  
1 ~ 1 5 のいずれかに記載の組成物。